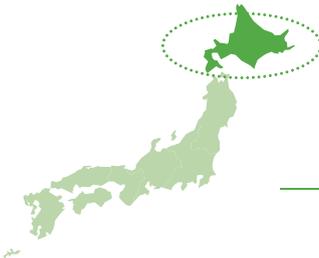


2020年度

全国高校生の環境活動

新型コロナウイルスの影響が続く中で、日本全国の高校生が熱心に環境活動やSDGs活動に取り組んできました。以下、高校生の活動事例をご紹介します。
高校生同士の交流や地域との連携の情報としてご活用ください。

掲載の地区別(都道府県)は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別で区分しています。

北海道
8団体

札幌新陽高等学校
アグリクラブ
澄川ホタルプロジェクト

都市環境に潜む自然を探したり、環境整備に関する活動を行っています。このプロジェクトは町内会の方が過去に取り組んでいた事業がきっかけで発足したこともあり、回覧板を通じて積極的に澄川地域の皆さんに情報発信しています。澄川のホタルをはじめ、地域をテーマに探究の幅を広げ、生き物に焦点を当てた調査を行っています。地域の方の想いを胸に地域で学ぶことに本気で挑戦しています。



市立札幌開成中等教育学校
Zi-'s
SDGsからみる持続可能な街づくり

学生の視点からSDGsを発信している。北海道下川町を訪問し、エネルギーが循環する様子や、町民の方が街づくりに楽しんで参加している様子を学んだ。また、北海道大学にご協力を頂き木質バイオマス研究を行なった。次に「環境が基盤となっている事」を伝えるカードゲームを作成し、限られた電力、お金、人材といった資源で街づくりをし、街が発展する要因をデータサイエンスの分野から研究した。



北海道釧路北陽高等学校
身近な問題について考えてみた。

3年生の選択「探究生物」では、生物基礎・生物の学習をさらに深める形で身近な問題に関して学んでいます。今回は代替肉・ビヨンドミートに関して調べたことを紹介する動画を作成しました。理由は、何よりも環境問題に関心があったから。身近なことであっても、自ら調べることで知識を深めることに繋がることがわかり、進学・就職後も諸問題に興味を持ち生活したいと思うようになりました。



北海道標茶高等学校
地域環境系列 環境ゼミガイド班
学ぼう自然、守ろう環境 ～私たちが発信する自然再生意義～

「標茶高校自然満喫ツアー」は、高校敷地内の軍馬川下流から源流までの道のりやミニ湿原に地域の方々を招き、自然や動植物、町の歴史についてのガイド、ドローン撮影等を実施。今年度は標茶町役場や釧路市役所、JR北海道との連携からくしろ湿原ノロッコ号で、釧路湿原や釧路川のガイドを約150人に行いました。ガイド活動はそれらすべてを含めると今年度まで、のべ47回実施しています。



北海道標津高等学校
自然科学部
綺麗な海を守ろう! MP(マイクロプラスチック)汚染を地域の環境と生物から探る!!(第2報)

自然科学部は、地域の自然をテーマに研究を行っています。現在は、マイクロプラスチック(MP)を中心にその調査方法・標津町沿岸・魚介類の汚染状況の確認、さらに標津川を流下してくるMPを調査しています。町内の用水路にも注目し、ゴミ拾いを行いながら海洋へのゴミ流出に関する調査研究を実施しています。これからも標津町をフィールドに自然環境に関する調査研究を継続していきます。

